



「つながりワーカー」は、地域で孤立している人や孤独な人に気づき、つながり、つなげ、見守る人材です。中央共同募金会では、つながりワーカーを養成する講座・研修の開催と、その実践として地域での孤立に気づき、つながり、見守る活動（地域でのサロン・見守り活動・相談支援等の活動）に対して助成を行っています。詳しくは助成応募サイトをご覧ください。

### 研修の様子をご紹介します

#### 野田校区福祉委員会（大阪府堺市東区）

野田校区福祉委員会は、南海高野線の北野田駅の東側に広がる、閑静な住宅街をエリアとしています。43人のボランティアが在籍し、個別援助活動として、見守り声かけ訪問、外出援助、配食活動を、グループ援助活動として、いきいきサロン、ふれあい食事会、地域リハビリ（体操・脳トレ）、子育て支援、世代間交流、ふれあい喫茶のほか、地域の相談窓口や研修・学習など、地域活動に情熱的に取り組んできました。

ですが、2020年にもたらされた新型コロナウイルスの感染予防の観点から、「地域活動がほとんど停滞してしまった」と、副会長の上野眞さんは振り返ります。



グループワークに取り組む野田校区の皆さん

2022年秋に「つながりワーカー養成研修」の案内を堺市東区社会福祉協議会から受け、「校区福祉委員会で3年ぶりに開催する活動。この研修を起爆剤として、地域活動を再開する機運を高めたかったんです」と上野さんは力を込めます。

2023年3月9日（木）、南野田地域会館で同研修を開催すると、33人のボランティアが参加しました。堺市社会福祉協議会東区事務所地域活動推進係長の宮崎浩二さんは、「野田校区の皆さんは、日ごろから個別の声かけをしてくださっています。地域のことを我がごととしてとらえて活動をされています」と話します。

グループワークでは、参加者から、「見守りをしていると、地域にこんなことで困っている人がいる、と気づく場面がある。そのときにはどんなふうに声をかけたらいいだろう？」と、地域の実例を挙げながら話し合う場面も見られました。

野田校区福祉委員会会長の米田眞利さんは、「この研修で学んだことを活かして、さらにつながりのある地域を目指したい」と抱負を述べました。

研修後は、参加者の皆さんでお弁当を囲みました。上野さんは、「研修だけでなく、食事をしながら皆でコミュニケーションをとることがとても大事。学んだことを振り返ったり、地域の情報交換をする大事な時間なんですよ」と話してくれました。



講義を聴きながらメモを取る姿も



野田校区福祉委員会会長 米田眞利さん

### DATA

野田校区（2023年2月末日現在）

人口 11,755人  
世帯数 5,410世帯  
高齢化率 28.6%  
町会数 22自治会

### 編集・発行

特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター (CLC)  
〒981-0932 宮城県仙台市青葉区木町16-30 シンエイ木町ビル 1階  
TEL 022-727-8730 FAX 022-727-8737

「つながりワーカー」を養成する教材ができました！

URL <https://clckyo2022.wixsite.com/kyobo>

